



株式会社 **小林洋行**

証券コード：8742

第76期 株主通信

2022年4月1日～2023年3月31日

株主の皆様へ TOP MESSAGE

株主の皆様には、平素より、当社の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに「第76期 株主通信」をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

第76期は、当社の連結子会社であるフジトミ証券株式会社が、おかげさまで2022年11月11日に創業70周年を迎えることができました。これからも幅広い業務展開でお客様と共に歩み続けてまいります。

コロナ禍が3年目に入る2022年は、経済活動の回復による世界的な物価上昇とそれに伴う金利の上昇、ロシア・ウクライナ情勢の悪化などマーケット全般は調整局面に入りました。米欧の相次ぐ利上げを受け、外国為替市場の円相場は円安が加速し、政府・日銀は24年ぶりにドル売り円買いの市場介入を実施しましたが歯止めがかからず、10月20日には東京外国為替市場で、円相場が一時1ドル=150円台まで値下がりし、1990年8月以来約32年ぶりの安値を更新しました。2023年3月には、米シリコンバレーバンクなどの相次ぐ銀行破綻に加え、スイスの金融大手にも経営不安が広がるなか、比較的安全な資産とされる金の先物価格が、3月20日一時1グラムあたり8,400円を超えて、前年に続き再び最高値を更新して推移しました。

当社グループは、投資・金融サービス業（商品先物取引、くりっく365・くりっく株365等）、生活・環境事業（広告用電設資材卸売業、LED照明等の販売、生命保険・損害保険の募集等）、スポーツ施設提供業（ゴルフ場関連事業）、不動産業（不動産賃貸業、宅地建物取引業）、インターネット広告業（SEO対策、サイト制作、広告運用代行等）を営む各社より構成されております。

今後も厳しい環境が続くなかでセグメントごとの有事におけるリスクヘッジを加味しながら、経営資源の適切な配分に努め、安定した経営体制の確立に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援とご理解を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2023年6月
代表取締役社長 細金 成光

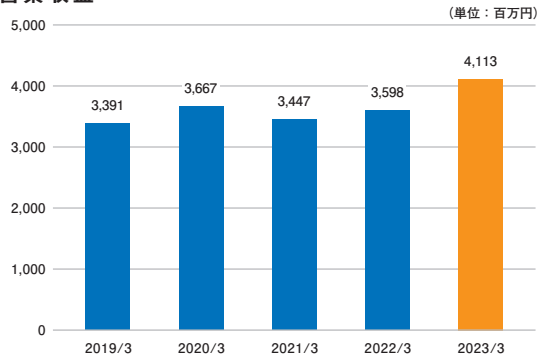
業績予想について

当社グループの主たる事業である投資・金融サービス業の業績は、商品市況、株式市況、為替相場等の変動に大きな影響を受ける傾向があり、業績を予測することが困難であるため開示しておりません。したがって、当社では四半期及び通期の業績につきましては、その概略がまとも次第、速報値等の公表を速やかに実施する方針です。

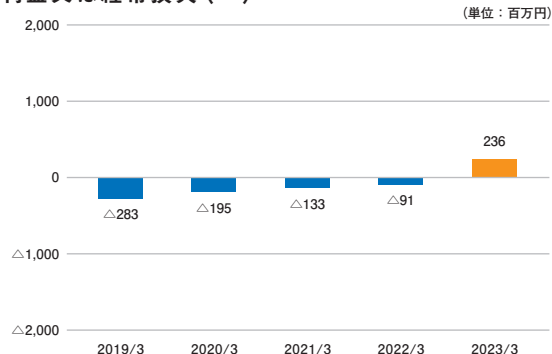
また、配当につきましては、通期連結業績の推移を踏まえて検討し、公表が可能となった時点で速やかにお知らせする予定です。

連結業績の推移 Highlight

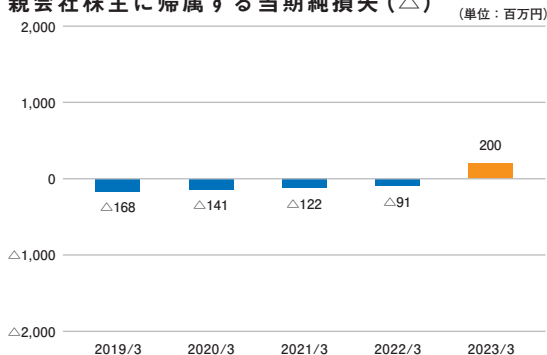
営業収益



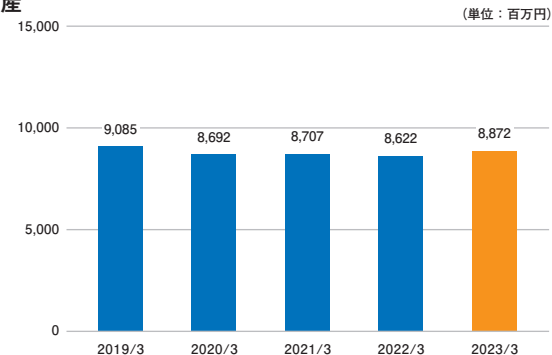
経常利益又は経常損失(△)



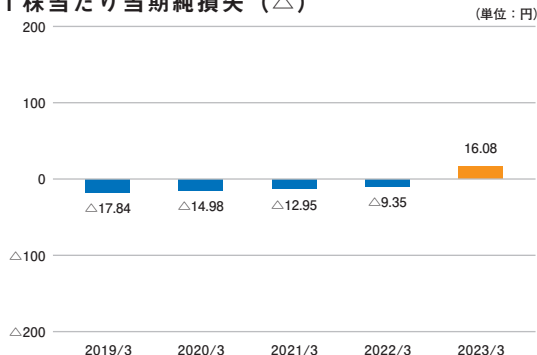
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)



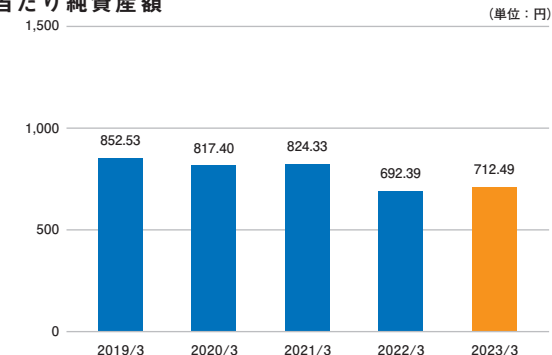
純資産



1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)



1株当たり純資産額



連結財務諸表

●連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

区 分	当 期 (2023年3月31日現在)	前 期 (2022年3月31日現在)
資 産 の 部		
流 動 資 産	11,306	9,572
現金及び預金	2,963	3,016
保管有価証券	220	230
委託者先物取引差金	565	169
差入保証金	6,270	5,109
預託の金	48	48
その他の金	1,239	999
貸倒引当金	△ 0	△ 0
固 定 資 産	5,655	5,502
有形固定資産	3,845	3,947
無形固定資産	55	26
投資その他の資産	1,754	1,529
資 産 合 計	16,961	15,074
負 債 の 部		
流 動 負 債	7,551	5,932
預り証拠金	2,751	2,456
受入保証金	4,227	3,063
その他の金	572	412
固 定 負 債	521	499
特別法上の準備金	15	20
負 債 合 計	8,089	6,452
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	8,609	8,440
資本剰余金	2,000	2,000
資本剰余金	1,394	1,394
利益剰余金	5,285	5,116
自己株式	△ 70	△ 70
その他の包括利益累計額	262	182
その他有価証券評価差額金	262	182
純 資 産 合 計	8,872	8,622
負 債 ・ 純 資 産 合 計	16,961	15,074

●連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

区 分	当 期 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)	前 期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)
営 業 収 益	4,113	3,598
営 業 総 利 益	2,800	2,404
営 業 費 用	2,621	2,549
営業利益又は営業損失(△)	178	△ 145
営 業 外 収 益	59	55
営 業 外 費 用	1	1
経常利益又は経常損失(△)	236	△ 91
特 別 利 益	23	11
特 別 損 失	1	12
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	259	△ 93
法人税、住民税及び事業税	56	19
法人税等調整額	2	0
当期純利益又は当期純損失(△)	200	△ 113
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	—	△ 22
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	200	△ 91

●連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

区 分	当 期 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)	前 期 (2021年4月1日から 2022年3月31日まで)
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	270	△ 12
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 250	△ 124
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 71	△ 133
IV. 現金及び現金同等物の増減額	△ 51	△ 270
V. 現金及び現金同等物の期首残高	1,815	2,086
VI. 現金及び現金同等物の期末残高	1,764	1,815

●業績の概要

2023年3月期において、投資・金融サービス業は、顧客基盤拡大のため新規顧客の獲得と営業力の強化に注力した結果、預り資産や口座件数が大幅に増加しました。また、主力商品である金や株式などのボラティリティが大きく、CXやCFDを中心とした取引が増加したため、1年を通して好調な業績を維持することができました。その結果、金融商品取引の受取手数料は1,321百万円、商品先物取引の受取手数料は469百万円となりました。投資・金融サービス業の受取手数料は1,791百万円となりました。

生活・環境事業において、保険事業のうち生保は、通達改正等による厳しい事業環境のなか、節税から保障と資産運用に目的をシフトした法人提案に注力し業績の維持を図りました。損保は、災害甚大化による保険料値上げがプラス要因となったほか、既存顧客の更改率の維持と新設法人をターゲットとした新規顧客の拡大を図りながら、業績の向上に努めてまいりました。その結果、募集手数料は283百万円となりました。また、広告用電設資材卸売業では経済活動化により広告関連の設備需要の回復を受け、売上高411百万円となり、LED照明等の販売事業の売上192百万円などを加えた、生活・環境事業の営業収益は888百万円となりました。

スポーツ施設提供業において、当社が所有するゴルフ場（ゴールドクロスカントリークラブ）では、ハイシーズンには一部台風等の影響を受けましたが、12月までは、ゴルフ需要の向上に客単価のアップに繋がり売上は好調に推移しました。しかし、今年に入ると、ウィズコロナのもと、ゴルフ以外の娯楽の選択肢が徐々に増えてきたことに加え、週末を中心に悪天候や寒波など気候面でも思えない場面が続いたため、来場者数は大幅に減少し、好調だった12月までの業績を下押しする結果となりました。売上高は458百万円となりました。

不動産業においては、不動産賃貸では、当社グループが所有する賃貸用マンションは、引き続き安定した入居率を図るため、物件の付加価値向上や入居者の満足度向上を目的とした設備投資に注力しました。ビジネスホテルは、水際対策の緩和や全国旅行支援が実施されると、稼働率は急速に回復し、宿泊単価も向上しました。また、不動産売買では、引き続き販売用不動産の売却は順調に進みました。仕入れにつきましては、販売価格やリフォーム費用が高騰しているため、優良物件を慎重に選別しながら購入活動を続けてまいりました。その結果、売上高は610百万円となりました。

インターネット広告業においては、前半は外注費等の増加によるコストアップが業績を圧迫しましたが、後半は、前半の反動に加え、集客に特化した広告の受注が好調となり、業績の向上に繋がりました。その結果、売上高は319百万円となりました。

これらの結果、営業収益は4,113百万円、営業総利益は2,800百万円となりました。一方、営業費用は2,621百万円と増加しましたが、営業利益は178百万円、経常利益は236百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は200百万円となりました。

Topics

投資・金融サービス業



FUJITOMI

フジトミ証券株式会社

FX・株価指数・商品取引なら、「フジトミ証券」で



取引所FXの「くりっく365」と取引所株価指数証拠金取引の「くりっく株365」、商品先物取引を、オンライン取引とコンサルタント（対面）取引で取り扱っております。投資初心者の方を対象にセミナーを随時開催しております。投資経験者の方には、使い勝手が良い取引ツールと質の高い豊富な情報ツールをご用意しております。是非一度ご体感ください。

※「くりっく365」は、株式会社東京金融取引所の登録商標であり、同取引所が上場している取引所為替証拠金取引の愛称です。

※「くりっく株365」は、株式会社東京金融取引所の登録商標であり、同取引所が上場している取引所株価指数証拠金取引の愛称です。

資料請求・口座開設
セミナー申し込みはこちら



くりっく株365/くりっく365

商品先物取引オンライン

TEL 0120-15-2413

東京TEL 0120-365-686 大阪TEL 0120-365-605

商品先物取引コンサルティング TEL 0120-241-337

生活・環境事業



FUJITOMI

フジトミ証券株式会社

豊富な商品ラインナップより、
お客様のニーズに応える保険商品をご提案します。

個々のお客様の不安や心配、計画や希望をお伺いして問題点を整理し、ご家族のライフプランから法人のリスクヘッジまで、保険を使った最適な解決策をご一緒に考えます。



本社保険事業部 TEL 0120-27-2413 福岡営業所 TEL 0120-60-2960 熊本営業所 TEL 096-288-7162



株式
会社

三新電業社

広告用電設資材総合卸・LED照明環境の

総合プロデュースを通じて、快適な視空間を社会に提供します。

1975年の創業以来、多くのお客様に支えられ、数々の広告用電設資材のご提供を手がけてまいりました。2015年3月に、株式会社小林洋行の連結子会社となり、新たに小林洋行グループの一員として、従来の広告用電設資材総合卸に加え、省エネルギー対策や快適な視空間の確保のためのLED照明のご提案を展開しております。

本社 TEL 03-5999-3434 (代)
FAX 03-5999-3477

日本橋オフィス TEL 03-3669-7762
FAX 03-3669-3375

スポーツ施設提供業

(運営)

株式会社日本ゴルフ倶楽部

エバーグリーンの広大なステージ。
ここにはプレーヤーの心を満たすすべてがある。
シックな佇まいのクラブハウスは寛ぎのひとときを、
ある時は豪快に、ある時は贅沢に満たします。
フェアウェイ・ティーグラウンドに
寒地型芝草（ペレニアルグラス）をオーバーシーティングして、
年間を通じて鮮やかな緑の芝生でプレーができます。



ゴールドクロス C.C.

千葉県長生郡長南町市野々575
TEL : 0470-82-5211
<http://www.goldencrosscc.com/>

年間を通じてフェアウェイが美しい緑の絨毯

圏央道市原鶴舞ICより約7分。「ゴールドンクロスカントリークラブ」



インターネット広告業

株式会社小林洋行コミュニケーションズ

集客力を高めるためのホームページ制作や、デザイン変更のご提案をいたします。
また、より効果的な広告運用のご提案等も行ってまいります。
お気軽にお問合せください。



小林洋行コミュニケーションズ

**KOBAYASHIYOKO
COMMUNICATIONS**

東京 TEL : 03-3669-4282 名古屋 TEL : 052-856-9639
京都 TEL : 075-255-2381 福岡 TEL : 092-419-7043

不動産業

多様なアプローチから不動産活用を行っております。

当社グループでは、所有する不動産を賃貸し安定した収益を確保しております。
また、中長期的な安定収益の確保を目的とした賃貸物件等の取得、
及び、短期的な収益の獲得案件にバランス良く投資してまいります。

- ▶ 2013年1月～ ビジネスホテル（相鉄フレッサイン日本橋人形町）
- ▶ 2014年3月～ 賃貸マンション（ロイヤルコート日本橋人形町）
- ▶ 2015年3月～ 賃貸マンション（エリートタウン日本橋）

相鉄フレッサイン日本橋人形町
東京都中央区日本橋蛸殻町1-15-4
TEL : 03-5695-0203



株式の状況

2023年3月31日現在

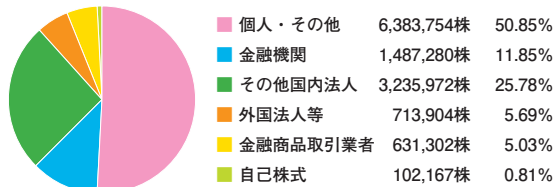
会社概要

- 株式数 発行可能株式総数 27,000,000株
発行済株式の総数 12,554,379株
- 株主数 21,199名
- 大株主（上位10名）

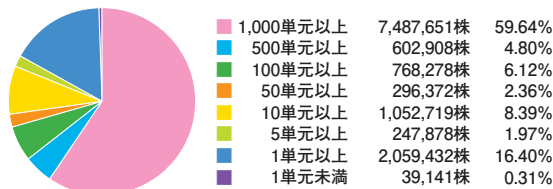
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社東京洋行	3,007	24.15
株式会社りそな銀行	600	4.82
共和証券株式会社	508	4.07
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	473	3.80
細金英光	390	3.13
内藤征吾	362	2.91
細金成光	311	2.49
トウヨウ セキュリテーズ アジア リミテッド	309	2.48
石崎 實	262	2.10
特定有価証券信託受託者 株式会社SMBC信託銀行	196	1.58

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示し、また、持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式(102,167株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況（1単元 100株）



- 商号 株式会社 小林洋行
- 英訳名 KOBAYASHI YOKO CO.,LTD.
- 本社 〒103-0014
東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目15番7号
- 設立 1949年（昭和24年）3月26日
- 資本金 20億円
- 主な事業内容 ・グループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務
・不動産賃貸業
- 役員 代表取締役社長 細金成光
(2023年6月29日現在) 常務取締役 大丸直樹
取締役 渡辺宏
取締役 瀧澤克行
取締役 細金英光
取締役（監査等委員） 霞 信彦
取締役（監査等委員） 加藤周二
取締役（監査等委員） 西田 章

(注) 取締役（監査等委員）霞 信彦氏、加藤周二氏及び西田 章氏は、社外取締役であります。

- 連結従業員数 135名（2023年3月31日現在）
- 主要取引銀行 株式会社りそな銀行・株式会社みずほ銀行・三井住友信託銀行株式会社
- 小林洋行グループ フジミ証券株式会社
(連結子会社) 株式会社三新電業社
株式会社日本ゴルフ倶楽部
(ゴールデンクロスカントリークラブ運営)
株式会社小林洋行コミュニケーションズ

株主メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月

基準日

定時株主総会については3月31日といたします。
その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。

剰余金の配当の基準日

3月31日及び中間配当金を支払うときは9月30日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問(FAQ) サイトでご確認いただけます。

https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal



▲こちらから
アクセス

株主名簿管理人

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵送物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

同取次窓口

三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店

【特別口座にて当社株式をご所有の株主様】

特別口座にて当社株式をご所有の株主様にかかる住所変更等のお届出につきましては、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社までご連絡ください。

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

公告の掲載

電子公告により、当社ホームページ
(<http://www.kobayashiyoko.com/>) に掲載します。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株式会社 小林洋行

〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目15番7号

電話 (03) 3669-4111 (代表)

<http://www.kobayashiyoko.com/>

株主優待制度

毎年3月31日^{注)}現在の株主様に対して、株主優待としておこめ券を次のとおり贈呈します。

所有株数 100株以上	1,000株未満	おこめ券 2枚
所有株数 1,000株以上		おこめ券 5枚

おこめ券は、全国のお米取扱店・有名百貨店・スーパー・コンビニなどをご利用いただけます。また、おこめ券1枚で440円分のお米とお引き換えでき、有効期限はありません。



注) 1年以上継続保有の優待制度：2021年3月末日を基準日とする株主優待制度から毎年3月末日を基準日として、3月末日及び9月末日の株主名簿に同一株主番号で3回以上連続して記載または記録されていることといたします。株主優待は「定時株主総会決議ご通知」(6月末)に同封し発送させていただきます。

